

令和7年9月期金沢大学学位記授与式 学長表彰者

◎学業・卒業論文等の成果が優れていると認められる者

ラトゥル クマール シル
RATUL KUMAR SHIL 自然科学研究科 博士後期課程 物質化学専攻

マイクロフィブリル化セルロース繊維の表面にナノサイズの鉄化合物を担持した有機無機ハイブリッド材料を新規開発し、廃液中の鉛、ヒ素、セレンを対象とした吸着分離技術に適用した。本研究の優位性は、経済的合理性が高い条件で、ナノサイズの鉄化合物の形状や表面電荷を精密に制御する化学修飾技術を開発した点にある。同セルロース材料について、水溶液中における金属元素の分離挙動を複合的に解析し、既存の鉄系吸着材よりも高選択的かつ速やかに目的元素が吸着除去されることを示した。一連の研究成果は産業廃液中の有害元素を選択的に除去する環境技術として、学術性と実用性が高く評価された。

マ ル ダ リ サ
MARDALISA 自然科学研究科 博士後期課程 環境デザイン学専攻

近年、世界的課題となっている薬剤耐性について、都市活動から環境への主要な排出源の一つとなっている下水処理場に着目し、除去が困難な細胞外薬剤耐性遺伝子の起源と挙動について解明した。特に、下水処理水に含まれる細胞外薬剤耐性遺伝子が、下水や活性汚泥と異なる特有の組成を持っていることを明らかにした点は特筆に値する。それらの成果は、薬剤耐性の環境中への拡散防止とワンヘルスによる薬剤耐性への取り組みに資する重要な知見を提供し、国内外で高く評価された。

バンガイ ロヒット
BANGAY ROHIT 自然科学研究科 博士後期課程 自然システム学専攻

大気中の真菌組成を解明し、土地利用パターンがバイオエアロゾル相に与える影響を評価することを目的とし研究を行った。時系列サンプリングを実施し、そのデータを局所的な気象変化と相関させることで、大気変動とバイオエアロゾル動態の因果関係を明らかにした本研究は日本の将来の国土利用計画に不可欠な基礎知見を提供することが期待され、国内外で高く評価された。

カミムラ マユコ
上村 真優子 自然科学研究科 博士後期課程 自然システム学専攻

年代対比のみならず分布域内の対比も困難であった白亜紀の地層・手取層群について、測定値の評価など基盤的な情報を整備したうえで炭素同位体比層序を確立し、複数の域内対比に有用な炭素同位体比イベントの検出に成功した。うち1つは散在的に得られていた地質年代値を紐づけることで国際対比の基準となる標準曲線とも対応することが明らかになった。東アジアで初めて、高い信頼性をもって白亜系オーテリビアン階陸成層を国際対比する実例を提示した本研究の成果は、東アジアに広く分布するジュラ～白亜系陸成層の対比への応用が期待され、国内外で高く評価された。

グエン チ タイ
NGUYEN CHI TAI 医薬保健学総合研究科 博士課程 医学専攻

マウスよりも脳が発達しているフェレットの脳でのアストロサイトの多様性を解析した。フェレットのアストロサイトを可視化する新たな技術を開発し解析した結果、フェレットにもヒトに類似したアストロサイトの多様性があることを発見した。本研究の成果は、フェレットを用いることで、これまで解析が困難だったアストロサイトの多様性の機能的意義やサブタイプごとの疾患病態との関わり の解明につながることを期待させるものであり、国内外で高く評価された。